

			2026年度		授業計画	
国際オートメカニク科						
時 期	1年前期	単元	実習	教科名	基本作業	
科 目	自動車整備作業・工作作業	教科書等 持参品	基礎自動車工学		発行日	
			基礎自動車整備作業			2026年3月19日
総時限	28時限 (44時間)				教科担当	教科担当
単位数	1単位					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、自動車整備全般の実務経験がある教員により基本的な整備作業について指導する。						
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)						
1. 切削作業を安全に行える。 2. 指定する工作物を、正確に作成できる。 3. 板金塗装の作業内容を理解する。 4. 塗料の種類 (成分) を理解する。						
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか)						
1. 安全作業と正しい機工具の取り扱いを身につける及び 5 S の徹底ができるようになる。 2. 工作物の作成により、QC を意識付けにつなげる。 3. 自動車整備に必要な用語を知る 4. 自動車整備に必要な部品名称を読むことができる 5. 自動車整備に必要な部品の作動を実物で確認する。また、作動を日本語で説明できる 6. 自動車整備に必要な整備機器の取り扱いができる。 7. 自動車整備士として必要な安全知識を得る。 8. 自動車整備を行う上で必要となる協力作業を理解する。						
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)						
課題工作物の出来栄 (95 点) とレポート (5 点) の評価合計点が 60 点以上で教科履修						
5. 準備学習						
6. 学修時間と単位						
1 単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45 時間の授業、および 15～0 時間の授業時間外学修 (予習・復習・レポートなど) 15～0 時間である。						

国際オートメカニク科

時 期	1年前期	単元	実習	教科名	基本作業	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	■第1章 授業概要 実習の基本的な進め方				基礎自動車工学	
2	■第2章 自動車の構造 自動車の構成、エンジンの原理				基礎自動車整備作業	
3	■ガソリン・エンジン（p15～23） ジーゼル・エンジン（p24～26）				工作作業各工具	
4	■第2章 動力伝達装置 アクスル及びサスペンション（p27～35）				丸鉄	
5	■第3章 ステアリング装置 ホイール及びタイヤ アライメント（p35～37）				角鋼	
6	■第3章 ブレーキ装置 フレーム及びボデー 灯火装置 計器（p38～45）				デイズ	6
7	■第4章 自動車の機械要素 ねじ				ジューク	6
8	■スプリング ベアリング ギヤ ベルト チェーン					
9	■内外装部品名の確認と簡単な役割					
10	■内外装部品の車両確認1					
11	■内外装部品の車両確認2					
12	■主要構成部現物（車両、部品）の名称、役割再確認					
13	■履修評価1					
14	■授業概要 安全作業、5S、製図 等角図とキャビネット図の描き方					
15	■製図 等角図とキャビネット図の描き方 作成物の工作図作図					
16	■弓のこについて解説及び、材料の寸法取りと切り出し作業					
17	■やすり掛け					
18	■やすり掛け					
19	■ベンチ・グラインダと、鉄工やすりを用いた研磨作業					
20	■ベンチ・グラインダと、鉄工やすりを用いた研磨作業					
21	■ドリル作業					
22	■ドリル作業					
23	■ドリル作業					
24	■タップ及び、ダイス					
25	■タップ及び、ダイス					
26	■ナンバリング作業 作成物の最終仕上げ					
27	■作成物の最終仕上げ 作成物完成					
28	■教材確認・修復作業					
29	■履修評価2（作成工作物提出）					
30						
31						
32						
33						
	※上記は予定であり、授業の内容・品質によって調整することがあります。					

■：対面授業

2026年度

授業計画

国際オートメカニク科

時 期	1年前期	単 元	実 習	教科名	基本作業
-----	------	-----	-----	-----	------

9. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	鋼材の切断 切削 研磨作業 鉄板を取り扱う作業	手袋の着用 ドリル、グラインダの作業は除く	切り傷等	
2	エアチャック取り付け	エアチャックを取り付け、取り外しは エアホースをしっかりと持つ。	学校ではないが卒業生がエアホースが目当たり 失明	
3	塗装作業 有機溶剤取り扱い	耐溶剤手袋を着用しスプレーガンなどの清掃を 行う 防毒マスクの着用 塗料が体（衣服）に付着したら着替える。 塗料が付着すると火の粉だけでも引火する。 ※直ちに着替える	手が荒れるなど、ひどい場合は炎症を起す 気分が悪くなる 大火傷による入院 6ヶ月	
4	防塵マスクの着用	防塵マスクの着用	すぐにはならないが蓄積するので 、塵肺などの原因になる	
5	卓上ボール盤 ベンチグラインダ作業	保護めがね着用 手袋はつけない 手袋は、巻き込まれる恐れがあるため ベンチグラインダでは、砥石の側面を使わない		

10. 授業レイアウト (写真の貼り付け可)

実習場	座学教室